

(1) 地域の元気を創造する取り組み

現状と課題

- 市町村合併で新市の周辺部となった旧町村地域（地方自治法上の事務所が置けない旧町村部）や過疎地域の多くは、県土の保全や水源のかん養、安全・安心な食料供給などの面で重要な役割を担う一方、高齢化や人口減少が進行しており、これらの地域の元気・活力を維持・向上させることが、本県全体のバランスある発展のためには必要です。
- 地域資源[※]に磨きをかけ、さらに芸術・スポーツなど新たな素材を活用して地域の独自の魅力をアップする取り組みが、今後さらに求められています。



うみたま体験パークつくみイルカ島（津久見市）

これからの基本方向

- 旧町村地域の振興発展を図る各種事業は、引き続き優先的かつ重点的に実施します。
- 旧町村地域や過疎地域の活力が維持され、さらに向上するよう、県振興局が地域住民などと協働し、地域の多様な資源を生かした持続可能な新たな取り組みの立ち上げから定着までを柔軟かつ機動的に支援します。
- 地域のさまざまな主体が行う、地域資源を活用した地域の課題解決につながるビジネス展開や、地域間交流、人材育成などの地域活性化への取り組みをきめ細かく支援します。
- 地域の魅力をアップさせるために、地域の歴史・文化の保存に加え、外部から芸術家、学術研究者を招いたり、スポーツなどのイベントを創設することで新たな価値を創り出し、地域の誇りを育てていきます。

主な取り組み

1 旧町村地域等の振興事業の実施

- 市町村合併支援プランに位置付けられた道路や下水道など社会基盤の整備をはじめ、地域活動の活性化や農林水産業など産業振興のための各種国庫補助事業、県単独事業の優先採択や重点投資

2 地域の元気をつくる取り組み

- 地域で安定的な収入を確保できるよう、持続可能なコミュニティビジネス[※]の立ち上げの支援
- グリーンツーリズム[※]、ブルーツーリズム[※]など都市との交流による農山漁村の活性化を支援
- 里の駅、加工所、直売所などの機能充実を支援し、都市との交流促進による地域外からの資金の流入や地産地消などによる地域経済の活性化を推進
- 地域間交流、人材育成など地域活性化につながる取り組みや観光と地域づくりを一体として進めるツーリズムの振興につながる取り組みを支援
- 地域の基幹産業である農林水産業などの魅力について、子どもに対する学習活動や都市に向けた情報発信を推進し、農山漁村における若者の定住を促進



農村での田植え体験（宇佐市安心院町）



木材加工拠点の整備（中津市耶馬溪町）

3 地域を磨く取り組み

- 地域が一体となって進める地域コンセプトや地域デザインを明確化するためのさまざまな取り組みの支援
- 住んでいる人が誇りに思う地域の産物や歴史文化遺産など、地域資源のブラッシュアップや観光客も楽しめるよう景観を保全する取り組みの支援
- 伝統的文化と現代アートの融合や、新たなスポーツイベントの創設など、これまでにない価値を創造し、地域の魅力を増す取り組みの支援

目標指標

指標名	単位	基準値	年	H22年度		H27年度
				目標値	実績値(見込)	目標値
旧町村・過疎地域振興のための事業 [※] 件数	件	20	H17	—	48	63

(2) 地域振興を進める人材の育成・確保

現状と課題

- 近年、団塊世代を含め、都市から地方への移住の可能性が拡大しており、少子・高齢化の進展により集落コミュニティを維持する担い手が不足していく中、外部からの人材誘致を促進し、地域活性化を担う人材を確保していく必要があります。
- 社会情勢の変化が激しく、地域が抱える課題も多種多様であることから、地域の課題解決のためのスキルを身につける統一的な人材育成プログラムの確立は難しい側面があります。しかしながら、地域の将来像が明確に描けない時代だからこそ、広い視野をもった地域を支える人材の育成は継続していく必要があります。

これからの基本方向

- 自然環境、暮らしやすさなど大分が持つ魅力を積極的・効果的に発信し、外部人材誘致のための移住（IJUターン[※]）対策を充実強化して実施します。
- 人材育成は、長期的な視点に立ったネットワークづくりと、具体的な活動へ誘導する支援を組み合わせで行います。

大分県へのIJUターン相談窓口	
総合窓口	“おおいた暮らし”総合相談窓口（大分県企画振興部観光・地域振興局） 大分市大手町3-1-1 大分県庁本館3階 電話 097-506-2116 メール info@iju-oita.jp 「移住交流ポータルサイトおおいた暮らし」 http://www.iju-oita.jp/
県外窓口	大分県東京事務所 東京都中央区銀座2丁目2-2 ヒューリック西銀座ビル6階 電話 03-6862-8787
	大分県大阪事務所 大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階 電話 06-6345-0071
	大分県福岡事務所 福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階 電話 092-721-0041

主な取り組み

1 移住（IJUターン）促進のための取り組みへの支援

- 移住希望者の多様なニーズに応じて、おおいた暮らしを体験してもらい、移住のためのステップとする、「移住体験」、「お試し体験」の展開
- 移住希望者への住まい（空き家）情報の提供を行うとともに、移住者がおおいた暮らしに早く馴染み、地域活動などに参加できるよう、NPO[※]活動などを通じた移住サポートの提供



相談者でにぎわう移住フェア（大阪市）

策定委員会から一言

人材育成においては、若い世代の人たちへの施策に加え、県外などから移り住んでくる人への施策も重要です。



2 地域における人材の育成と人的ネットワークづくり

- ツーリズム大学[※]などを通じて、広い視野を持って地域の活力を支え、けん引する人材を育成
- ツーリズム大学修了者やさまざまな地域づくり活動の実践者が相互に連携を深め、地域の活性化に向けた協働が進むよう、地域の人材をつなぐネットワークづくりを推進



ブルーツーリズム[※]を体験するツーリズム大学受講生（佐伯市蒲江）

目標指標

指標名	単位	基準値	年	H22年度		H27年度
				目標値	実績値(見込)	目標値
県の移住相談窓口への新規登録者数	人/年	89	H21	—	90	181
おおいたツーリズム大学修了生数	人	22	H19	—	112	212